学校番号	206

令和２年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校社会と情報　新訂版（実教出版）						
副教材等	高校社会と情報　新訂版　学習ノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報化社会の特徴について学び、情報化社会をよりよく生き抜くための知識と考え方を身に付けましょう。
・様々なマルチメディア作品の制作を通して、情報技術を活用した表現やコミュニケーションの力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現する力を習得します。また、効果的にコミュニケーションを行う能力を培い、情報社会に積極的に参画する態度を身に付けることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 自己評価・相互評価 発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 発表 自己評価・相互評価 定期考査	学習状況の観察 実習作品 発表	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	情報社会	○情報と情報社会 ○メディア ・メディアとその特徴 ・メディアリテラシー	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:情報社会やメディアについて関心を持っている。 b:メディアの特徴をふまえ、自分とメディアとの関わりについて考えることができる。 c: 情報に適したメディアを選択することができる。 d:情報社会の特徴やメディアの性質について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	ディジタル化	○ディジタル化 ・画像処理ソフトウェアを活用したポスター制作 ○圧縮	○ ○	○	○	○ ○	a:画像の加工等の実習に意欲的に取り組んでいる。 b:画像処理ソフトウェアでフィルタなどの効果を使い, 創作的な作品を表現できる。 c:画像処理ソフトウェアを適切に操作することができる。 d:ディジタル化や圧縮の仕組みを理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 自己評価 相互評価 定期考査
前期期末	コミュニケーション	○電子メール ○インターネット ・Webページ制作 ・知的財産権	○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:電子メールやＷｅｂページ制作の実習に意欲的に取り組んでいる。 b:知的財産権を尊重した適切な画像の利用について判断できる。 c:ＨＴＭＬを適切に使い、Ｗｅｂページを作成することができる。 d:メールやインターネットの仕組みについて理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 定期考査
	情報安全	○情報セキュリティ ・暗号化 ・誤り検出	○	○	○	○	a:情報通信を支える技術について関心を持っている。 b:情報セキュリティ技術の必要性についてまとめることができる。 c:暗号化のルールを用いて暗号化や復号化を行うことができる。 d:暗号化や誤り検出などの情報セキュリティ技術について理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査

後期中間 後期期末	問題解決	○問題解決 ・情報の収集・整理・分析 ・プレゼンテーション	○	○	○	○	a: テーマの設定から発表・評価まで作品の制作に積極的に取り組んでいる。 b:収集した情報やその分析結果について考察を行い、表現することができる。 c:収集、分析した情報を、発表活動を通じて他者に伝達することができる。 d:伝わりやすい発表資料や発表方法について理解している。	授業観察 ワークシート 実習作品 自己評価 相互評価 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。